

件名	令和7年度第2回恵庭市公民館運営審議会議		
日時	令和8年2月13日(金) 10:00~10:50	会場	島松公民館 視聴覚室
出席者	<b>【恵庭市公民館運営審議会委員】</b> 神田、大塚、渡辺、吉田、小川原、八木橋、熊野、徳家、藤岡 <b>【傍聴者】</b> 1名 <b>【教育委員会】</b> 狩野教育部長 社会教育課 黒氏課長、村山主査、津田主査、今井社会教育指導員、岩崎		
概		要	
<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶          恵庭市公民館運営審議会 会長 神田 美佐子          恵庭市教育委員会 教育部長 狩野 洋一</p> <p>3. 議題</p> <p>1) 報告事項</p> <p>① 令和7年度上半期社会教育事業報告について(資料No.1)          社会教育事業ということで、社会教育課、読書推進課、郷土資料館と3課に跨ることから、公民館事業についてのみ報告を行った。</p> <p>② 令和7年度市民講座会場訪問実施報告について(資料No.2)          資料No.2に沿って報告・説明。</p> <p>③ 第69回北海道公民館大会 in あばしり参加報告について(A委員)          ・R7年10/16・17の2日間参加した。          ・大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授による『地域に出向き共に考え取り組む公民館』と題して基調講演がされ、「消極的な公民館の取り組みが多くみられる。社会教育行政側の都合により、事業のマンネリ化、リピーターの来館、来館者が固定化するとますます高齢化やマンネリ化する。学習者側や地域の側から取り組みがどのように見えるかということも意識すべき。」との話であった。          ・『未来につながる公民館活動』と題して寿都高等学校、網走桂陽高等学校、網走南ヶ丘高等学校、東京農業大学オホーツクキャンパスの学生、生徒たちが自分たちの活動についてのやりがい、自分たちにとってのふるさとのイメージ、学校は自分たちにとって何なのかを報告、発表があった。          コメンテーターより、身体的、精神的な健康、社会的に良好な状態、これらが満たされた状態『Well-being(ウェルビーイング)』がキーポイントになると話された。          ・2日目は、「社会教育施設・公民館再編の課題」に出席。          東神楽町、安平町の施設建設に向けての経緯の話であったが、小さい市町村ではできることかもしれないが、恵庭に置き換えると少し難しいと感じた。</p> <p>●報告事項①②③に関わる意見・質問はなし。</p> <p>2) 協議事項</p> <p>① 令和8年度「恵庭市公民館主催事業計画」について(資料No.3)          資料No.3に沿って説明し、提案。          ・昨年度と比べ、大きな変更はなし。</p>			

日曜趣味講座「そば打ち基礎講座」が人気の講座であるため、2回開催する計画。その他事業で、講座「キノコのことを知ろう」を新規開催予定。

② 令和8年度「恵庭市市民講座受講生募集のご案内」について（資料No.4）

資料No.4に沿って説明し、提案。

・7年度と同内容12講座開設。

③ 令和8年度「恵庭市公民館サークル」について（資料No.5）

資料No.5に沿って説明し、提案。

（社会教育課）市民会館耐震工事により、市民会館で活動していたサークルが他会館に変更して活動している。中には、会館が借用出来ず、講師宅で活動しているサークルもある。その団体については、会場の関係から、新規会員を募集しないことにしている。

● 協議事項①②③の提案に関わる意見・質問

（B委員）市民講座の講師の確保状況は

（社会教育課）高齢化が進んでいる状況である。講師の後継者確保が難しい。文化協会に協力を依頼しながら進めていく。

（社会教育課）子ども対象事業について、何か良い事業はないか。公民館事業では、子ども単独での事業は実施していない。父か母と子の事業であったが、キャンプ体験講座では、想定外の父・母・子の親子参加となって楽しんでもらった。

（A委員）文化協会でも親子体験講座を実施したが、子だけでなく親も同じ体験をして好評だった。講師探しは大変。

（C委員）大学生と子どもだけで事業をしたことがある。子ども達だけで料理を作り、家でまた作って、親に食べてもらう。子ども達だけで何か実験をして、家に帰って同じ実験をして親に見せたりしている。大学生を使っただけであれば、協力は可能だと思う。

（社会教育課）ありがとうございます。公民館でも大学生によるスマホ講座を開催しており、人気のある講座です。大学生の皆さんも受講者に丁寧に指導されていました。ただ、学生さんは、授業やアルバイトで忙しく、なかなか日程調整が難しい。

（D委員）提案ですが、高齢者向けに生成AI講座はいかがか。生成AIの使い方だけではなく、誤情報の見極め方、質問の仕方など、今は、生成AIではないか。

（教育部）教員のサマーセミナーで生成AIについて講義があったが、教員には好評であった。生成AIを道具としてどう使えるのかというものもあっていいと思う。

3) その他

（社会教育課）防衛省の補助を使って、公民館集会室の椅子、テーブル等を更新しました。

今年度末で、委員の任期が満了となります。直接のお願い、団体からの推薦依頼をするところですが、引き続きよろしくお願ひいたします。また、公募委員につきましては、広報3月号で募集することになります。どなたかいらっしゃれば、お声かけ願ひいたします。

5. 閉会

◇ 会議の様子

